

令和5年6月9日

報道機関 各位

## ON THE WAY 2023 -富山大学芸術文化学部 渡邊雅志研究室-を開催

### ■ 概要

本展は、富山大学芸術文化学部 渡邊雅志研究室に所属する大学4年生4名による展覧会です。  
下記のとおり開催いたしますので、取材・報道方、よろしくお願いいたします。

### 記

#### [会期]

○第1期：2023年6月10日(土)～6月15日(木) 11:00～19:00

久乗裕夢 & 赤畠桂都

○第2期：2023年6月17日(土)～6月22日(木) 11:00～19:00

木ノ瀬美奈 & 二上晴君

#### [会場]

geibun gallery (芸文ギャラリー) <http://www.geibungallery.jp>

〒933-0029 富山県高岡市御旅屋町90-1 KMビル1F

※専用駐車場はございません。水曜定休。

#### [観覧料]

観覧無料

#### [主催及び担当教員]

富山大学芸術文化学部 准教授 渡邊雅志研究室

#### [開催によせて]

本展は、富山大学芸術文化学部 渡邊雅志研究室に所属する大学4年生4名による展覧会です。

展覧会と言っても、皆さんが思う内容とは違いますので、少しご説明させていただきます。

当たり前のことですが、人間一人ひとりに人生があり、歩む道が違います。

歩んだ道が、その人の個性や性格、価値観や感性をもつくっていきます。

本人が特に意識しなくても、日々過ごしているだけで誰でも個人は形成されていきます。

つまり、人は初めから「個」でありオリジナリティに満ちていると言えます。

誰とも同じではないのです。

ですが皆さん、「自分には個性がない」「自分にできることなんて特にない」「自分ぐらいの人はたくさんいる」と思ったことはありませんか？

それは、自分と誰かを無意識に比較して自分にできないことを見つけ出し、評価してしまうからです。

なぜ、自分にできることを意識的に探して、自分の「個」を評価しないのでしょうか？  
渡邊研究室の4名は、これから大学生最後の課題「卒業研究」に取り組みます。  
その前にいつも私は、私の研究室を選んだ学生について知ることから始めています。  
何が好きで、何に熱中して、どんな子ども時代を過ごして、何を覚えているか。  
デザインを学ぼうと思ったきっかけや、普段過ごしていて気になることまで。  
どんどん話して、どんどん記憶を呼び覚まします。  
記憶が活性化し、認識していなかった記憶の断片が浮かんできます。  
本人ですら気がついていないことを見つけて会話をするので。  
すると「あっ、そうだったのか!」と思う瞬間が不意に訪れます。  
その瞬間が自分の「個」にようやく気がつき、自ら評価した瞬間なのです。  
この瞬間から渡邊研究室での「卒業研究」が始まります。  
自分の「個」を認識し、それができることであり、好きなことであり、チャレンジしたいことだからです。  
私はこの時間を展覧会として企画し、皆さんと共有したいと思いました。  
4名の歩んできた道を共に知り、感じ、理解し、人間の「個」について考えたいのです。  
考えているうちにきっと、皆さんは自分の歩んだ道を振り返り、これから先の自分のことも考えましょう。  
誰だっていつだってこの瞬間は、「ON THE WAY (途中)」何かに向かっている途中です。  
ここは誰にとっても可能性に満ちた現在地に違いないのです。  
自分を認めることが可能性をつくるのです。  
本展をきっかけに、皆さんにある「個」に出会っていただけたら幸いです。

**【本発表資料のお問い合わせ先】**

富山大学学術研究部芸術文化学系 准教授 渡邊雅志  
TEL : 0766-25-9176 (直通)



可能性に満ちすぎた私たちの現在地。

# ON THE WAY

富山大学芸術文化学部 渡邊雅志研究室 2023

6/10 - 6/15

久乗裕夢  
赤富桂都

6/17 - 6/22

木ノ瀬美奈  
二上晴君

geibungallery

営業時間 11:00 - 19:00 ※水曜定休 入場無料  
〒933-0029 富山県高岡市御旅屋町90-1 KMビル1F  
※当店には専用駐車場はございません。  
TEL: 0766-25-6078 MAIL: info@geibungallery.jp  
主催: 富山大学芸術文化学部 渡邊雅志研究室